

平成29年10月17日

東村高江米軍ヘリ炎上事故関連調査結果について（第2報）

～高江小学校における放射線の確認について～

沖縄県環境部環境保全課

1. 目的

東村立高江小学校敷地内における放射線計数率（cpm）を確認するため、可搬型測定器を用いて調査を行った。

2. 調査実施日

10月12日

3. 調査項目

GM 計数管式表面汚染測定用サーベイメータ（TGS-146）※による放射線の計数率（cpm）

※GM 計数管式表面汚染測定用サーベイメータは、ベータ線を放出する放射性物質が物品や体表面に付着しているかどうか調べるために用いられる。

4. 調査対象（地図は別紙参照）

- ①東村立高江小学校敷地内
- ②比較対照地点
 - ・国頭地区行政事務組合消防本部東分遣所（東村）
 - ・沖縄県北部保健所（名護市）
 - ・沖縄県衛生環境研究所（うるま市）

5. 調査方法

検出器の窓を調査対象地点地面から5cm程度離し、放射線の計数率（cpm）の最大値を測定

6. 調査結果

高江小学校敷地内における放射線計数率を確認したところ、調査結果は別紙のとおりであり、いずれも比較対照地点と比べて異常な値は検出されなかった。

東村立高江小学校敷地内における放射線の計数率測定結果

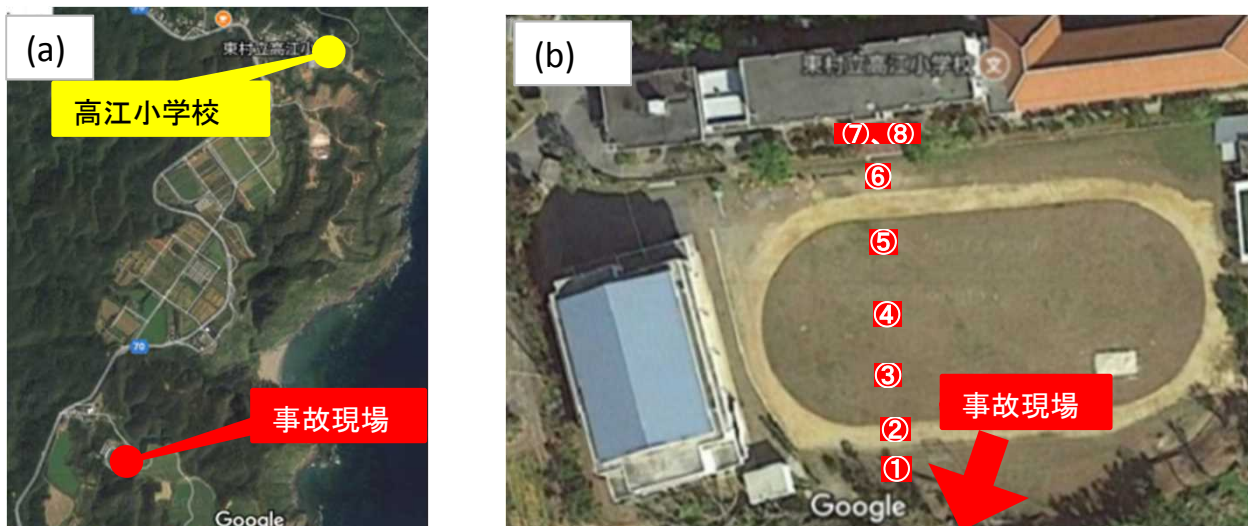


図1. (a)事故現場と高江小学校との位置図、(b)高江小学校敷地拡大図

表1. 高江小学校敷地内における放射線計数率

測定時刻	測定地点	地面の状態	単位:cpm 最大値
16:30～	①グラウンド	芝生	86
	② "	土	90
	③ "	芝生	95
	④ "	芝生	125
	⑤ "	芝生	125
	⑥ "	芝生	89
	⑦校舎 玄関前	コンクリート	114
	⑧校舎内 玄関付近	タイル床	85

備考)上記の数値は、測定器がもつバックグラウンド値を含めた値。

表2. 比較対照地点における放射線計数率

測定時刻	測定地点	地面の状態	単位:cpm 最大値
15:55～	東村、国頭消防 東分遣所		
	駐車場	アスファルト	157
	"	芝生	98
	"	芝生	92
17:45～	名護市、沖縄県北部保健所		
	駐車場	アスファルト	136
	"	コンクリート	101
	中庭	芝生	99
	"	芝生	90
	門扉付近	アスファルト	99
19:00～	うるま市、沖縄県衛生環境研究所		
	駐車場	アスファルト	121
	中庭	芝生	137

備考)上記の数値は、測定器がもつバックグラウンド値を含めた値。

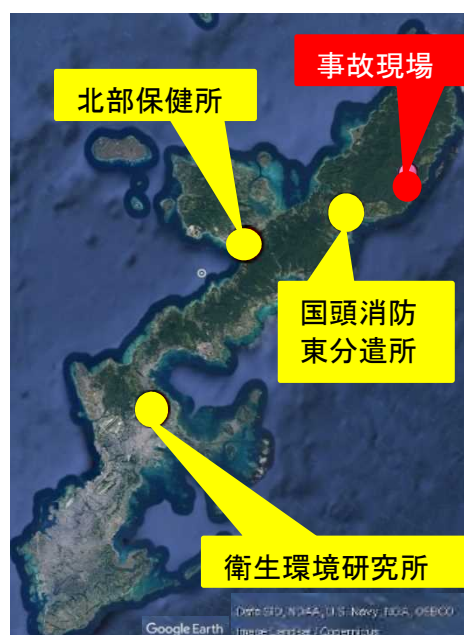


図2. 事故現場と比較対照地点との位置図

《参考》

①GM 計数管式表面汚染測定用サーベイメータの指示値について

GM 計数管式表面汚染測定用サーベイメータは、放射能汚染の有無を調べるためのものであり、放射線計数率 (cpm) については、あくまで目安として取り扱っております。評価に当たっては、汚染のおそれがない対照と比較することにより放射能汚染の有無を判断します。

②ベータ線について

自然界にはベータ線を放出する放射性物質がいくつか存在し、土壌や食品、私たちの身体に含まれるカリウムには、一定の比率でカリウム 40 という天然の放射性物質が含まれています。カリウム 40 はベータ線を放出するため、カリウムが多く含まれている肥料が散布されている畑地などではベータ線が高くなる傾向があります。

GM 計数管式表面汚染測定用サーベイメータは、様々な放射性物質が放出するベータ線を区別することなく測定するため、本事故において懸念されるストロンチウム 90 に起因するものなのか判断することはできません。

③ストロンチウム 90 の測定について

ストロンチウム 90 の放射能濃度を調べるには、試料中からストロンチウムを抽出して測定する必要があります。沖縄県では、事故現場周辺の土壌試料を採取し、土壌中にストロンチウム 90 がどの程度含まれているか調査し、これまでの県内の土壌中に含まれるストロンチウム 90 の測定結果と比較を行います。